

小学部だより

2021. 4. 20 No.2

学校の様子から

新学期が始まって1週間が過ぎました。新しい環境の中で少し緊張している様子も見られたAさんとBさんですが、徐々にペースもつかめてきたようです。



9日は小中の子どもたちが集まって、お互い自己紹介をしたり、一緒に学校周辺を歩いたりしました。3月まで一緒に過ごしたお兄さんやお姉さんの声を聞いてBさんは大喜びで、ずっと笑顔でした。Aさんは、みんなの自己紹介をしっかりと聞いて、はきはきと自己紹介できました。



15日はスナップエンドウのすじとりをしました。次の日の給食に使われました。はじめにさやいんげんや、絹さや、そらまめ、グリーンピースなどほかのお豆も触って比べました。そしてスナップエンドウのすじをとっていきます。



Bさんはスナップエンドウを握ると早速食感を確かめたかったようでものすごいスピードで口元



へ。でもお仕事もきっちりがんばりました。先の部分をしっかりと握り、腕を後ろに引きながら、上手にとることが出来ました。終わった後は満足げな笑顔でした。

Aさんは、すぐにコツをつかんできれいにすじとりをしてくれました。そらまめやグリーンピースのさやを開いて、中の様子を調べてみると、「ふわふわ」「いくつはいつているかな」などと興味津々でした。



Aさんに「盲学校はどう？」と聞くと「楽しい！」と答えてくれたので、「何が楽しいの？」と聞くと「おべんきょう」、しかも「算数」だそうです。素晴らしいですね、その調子でがんばってね。理科では音声温度計や明るさを音の高さで教えてくれる感光器など盲学校ならではの機器を紹介してもらっていました。教科書など本を片付けるのも、自分がわかりやすく使いやすいように場所や並べ方を考え、工夫しているそうです。

Bさんも毎日の学習を楽しみながらがんばっています。音楽ではマラカスを曲の間しっかり握り続けて、演奏することができました。図工では絵の具を手につけてその感触を楽しみながら画用紙にぺたぺた、とても手がよく動き意欲的だったようです。何ができあがるか楽しみです。体育ではバランスボールの上で身体を伸ばしたりはねたりするのが大好き！鈴入りボールが転がってくる音を聞いて自分からしっかり手を伸ばすこともできました。

